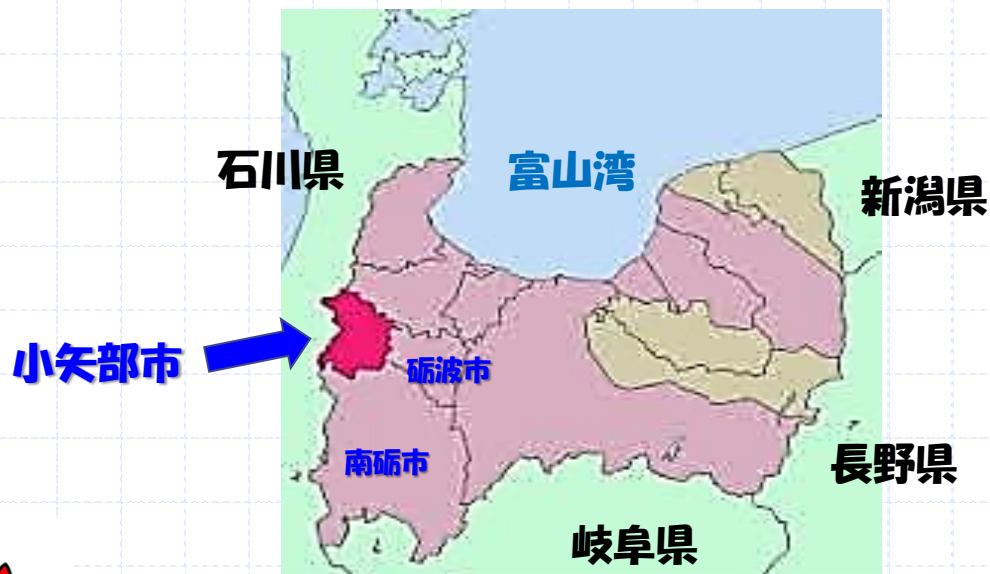
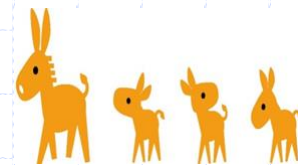


～ おやべ発「認知症」ど～もないちゃ！～

認知症地域支援事業



富山県小矢部市
地域包括支援センター 福田秋美



小矢部市の概要 <平成29年4月1日>



◇人口：30,649人

◆高齢者人口 10,512人 (高齢化率 **34.3**%)
(内 後期高齢者 **5,453**人 後期高齢化率 **17.8**%)

◇高齢者のみ世帯 2,476世帯 / 全世帯 **10,255**世帯
(内 一人暮らし **1,177**世帯)

◆要介護・要支援認定者 1,928人 (認定率 **18.4**%)
(内 在宅 **1,206**人)

※75歳以上認定者 **1,764**人 (認定率**32.3**%)

◇認知症自立度Ⅱ以上の在宅高齢者 562人
(H29.6居宅介護支援事業者等調査)

◆第6期(H27~29)介護保険料 基準額 5,780円 (砺波地方介護保険組合)

◇日常生活圏域 **3**圏域

小矢部市の介護・福祉資源

- ◇ 地域包括支援センター：直営 1ヶ所
- ◇ 在宅介護支援センター（ブランチ）3ヶ所
- ◆ 特別養護老人ホーム 2ヶ所（160）
- ◆ 老人保健施設 2ヶ所（180）
- ◆ 介護療養型医療施設 2ヶ所（56）
- ◇ 地域密着型サービス
 - 介護老人福祉施設（小規模特養）1ヶ所（29）
 - 小規模多機能型居宅介護 4ヶ所（112）
 - 認知症対応型共同生活介護 11ヶ所（20ユニット:180）
 - 認知症対応型通所介護 2ヶ所（24）
 - 地域密着型通所介護 6ヶ所（84）

認知症地域支援体制構築等推進事業

コーディネーター委嘱 (19.11.2)

協働体制

【要件】

- ① 現に認知症の本人やその家族に対するサービスの提供等の支援をしている者
- ② モデル地域内における認知症ケアのニーズや事業所等の状況を熟知している者



○グループホーム管理者(2) ○介護相談員(1) ○民生委員(1)

○認知症の人と家族の会会員・介護施設相談員(1)

○居宅介護支援事業所介護支援専門員(1)

○社会福祉協議会・在宅介護支援センター(1) <計 7名>

* オブザーバー 厚生センター・県高齢福祉課

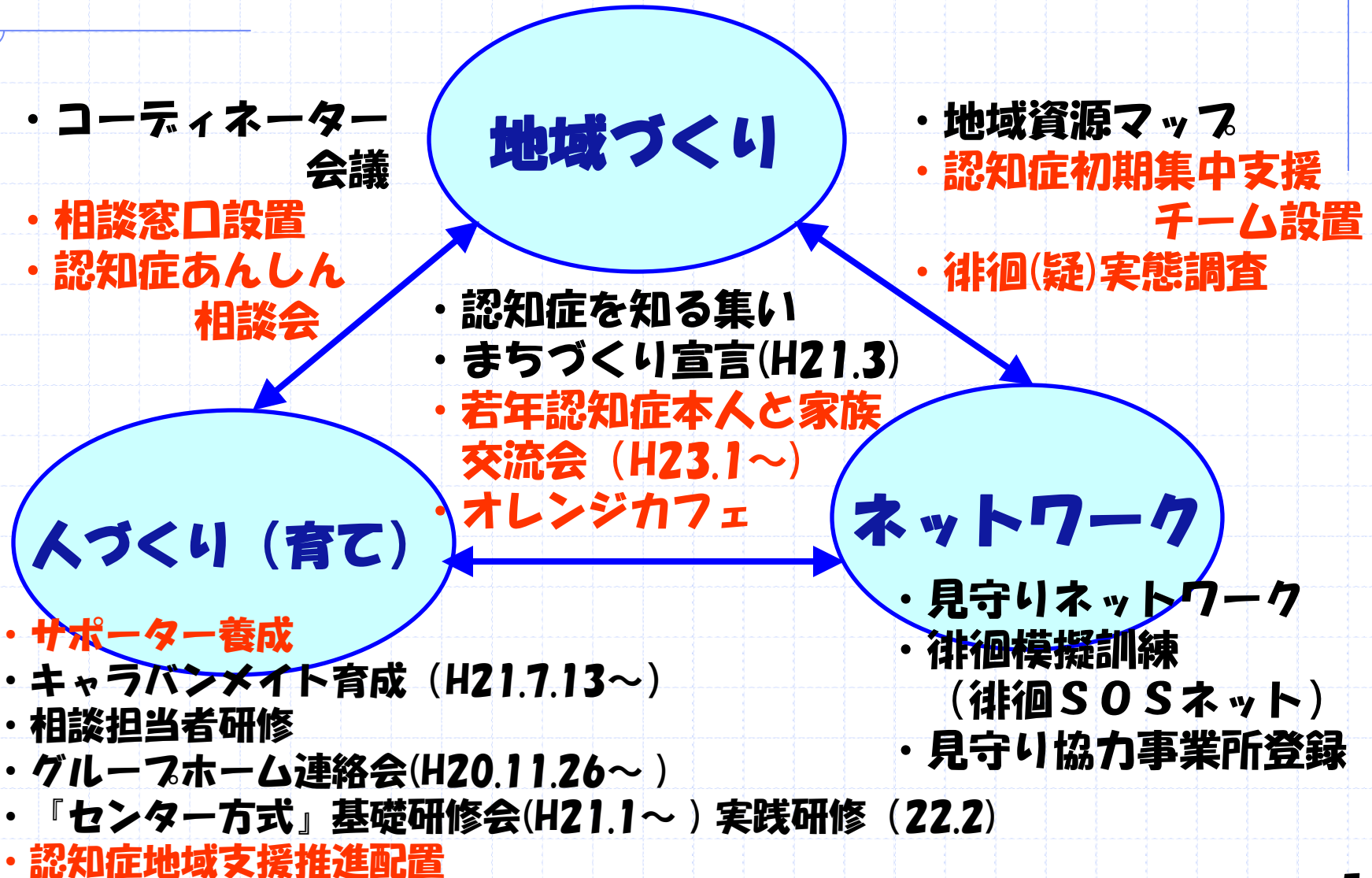
コーディネーター会議(H19.11~22.3) 開催 45回

ビジョン

～おやべ発～
‘認知症’
ど～もないちゃ

小矢部市は
「認知症になっても
安心して暮らせる
まちづくり」を
目指しています！！

ビジョンの実現のために



ビジョンの実現のために①

まずは、土台づくりから

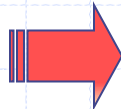


①理解者・支援者を増やそう！

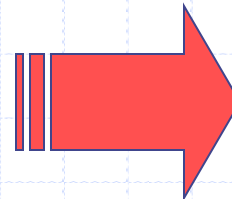
サポーター養成
キャラバンメイト育成

名付けて「ローラー作戦」 手段は「出前講座」

1,000人
キャラバン
H20.3～



3,000人
キャラバン
H20.6.22～



10,000人
キャラバン
H21.5.17～

出前講座＝サポーター養成状況

(H20.3～29.8.31)

◆ 地域 (地区長寿会・いきいきサロン・自治振興会
市議会議員・女性消防団・地区社協・ボランティア団体他)

7,882人／192回

◆ 職域 (郵便局・銀行・JA・理美容組合他)

636人／32回

◆ 学校 (小学校・中学校・高等学校)

1,071人／27回

◆ 行政 (市長・新任職員等)

111人／7回

*** サポーター数 9,700人／258回 ***

ビジョンの実現のために②

みんなに発信！知ってもらおう！

②啓発普及

啓発イベント「**認知症を知る集い**」& 広報

第1回 H20.3.20 <参加者550人>テーマ：認知症の理解

小矢部市の現状・**家族の声**・講演&医師と講師との懇談会

講師：認知症介護研究・研修東京センター長 長谷川和夫先生

第2回 H21.3.20 <参加者480人>テーマ：若年性認知症

小矢部市の現状・**サポーター活動意見発表**（学校・職場・地域から）

講演&医師と講師との懇談会・講師：若年認知症のご本人と主治医

まちづくり宣言

「認知症」
どうも
ないちゃ!

～おやべ発～

認知症を知る集い

入場
無料



日時 平成21年**3月20日**(金・祝)
午後1時30分～3時50分
(開場 午後1時)

場所 **クロスランドおやべセレナホール**

内容

- 小矢部市の現状報告
- 意見発表(学校・職場・地域から)
- 講演

演題

「認知症と 明るく生きる」

講師

太田 正博 × 菅崎 弘之医師

(認知症を語る会 代表) (太田氏主治医)

1949年 福井県生まれ
2002年 若年性アルツハイマー型認知症と診断される
2005年 講演活動を開始
著書「私、バリバリの認知症です」ほか

■ まちづくり宣言

小矢部市では平成19年度から「認知症地域支援体制構築等推進事業」に取り組んでいます。
一人でも多くの方々が認知症の人や家族の応援者となってください!

主催:小矢部市・認知症コーディネーター会議 共催:富山県・小矢部市医師会

～アンケートから～

- 若い人が認知症に関心を持ってくれたことが、有り難く、うれしかった。(60代男性)
- 銀行の状況もよくわかった。若い世代、職場、それぞれの所で広く研修を受け、市民全体で心配のない街にしたい。(40代女性)
- 認知症の人の気持ちが少しわかったような気がする。(50代女性)
- 声をかけたり、話を聞いてあげることが何より大切とわかった。
- お互い様と、気軽に声を掛け合える体制づくりや見守り隊のような支援を。
- これからの小矢部、みんなで考え支え合っていかなければならないと思った。



主なメニュー

- ホーム
- 各種研修のお知らせ
- 出前講座のお知らせ
- 認知症への理解
- 介護保険制度について
- 支援者のページ
- 見守りネット
- コラム
- リンク集

お役立ち事業者一覧

- 相談窓口
- 在宅介護支援センター
- 居宅介護支援事業所
- 在宅サービス事業者
- 施設サービス事業者
- 医療機関
- 見守り登録事業所【お店・生活施設】

サイト内の検索

検索

高度な検索

ログイン

ユーザー名:

パスワード:

ログイン

パスワード紛失

新規登録

はじめに

小矢部市では平成19年度より国の認知症地域支援体制構築等推進事業実施のモデル地域として、市全体で認知症の方やその家族を支えることができるよう「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」に取り組んでいます。

この『認知症あんしんネット』は、認知症の方やその家族、地域の方々に認知症に関する必要な情報を提供するためのページです。



私達がサポーターです!
ぜひ、ご活用ください。

お知らせ・最新情報（コンテンツ更新一覧）

- 東藍谷地区認知症徘徊見守り権限訓練 開催します (2015-10-16)
- 小矢部市良所新任職員が認知症サポーターになりました (2015-10-16)
- オレンジカフェへのお誘い (2015-7-28)

認知症になっても安心して暮らせるまちづくり推進メッセージ

私たちは、子どもも大人も、みんな誰もが、同じ価値を持った「個人」であり、一人ひとりが尊い存在です。

誰もが住み慣れた家や地域で、安心して幸せに暮らし続けたいと願っています。

わたしたちはこのような当たり前前の「願い」やこれからの「目指す道」を認知症の人やその家族の気持ち、地域の方を通して学ぶことができました。

認知症とともに、認知症を超えて、まちづくりを進めていく新時代を迎えた今、昨年にも続いて“認知症を知るつどい”を開催することができました。



オレンジリングは
認知症サポーターの

現在のサポーター数（随時更新）

ただいま8,498人です
(平成27年11月18日現在)

リンク先



このサイトについて

小矢部市健康福祉課が運営しています



TEL: 0766-67-8602

932-0821 富山県小矢部市鷺島15番地
小矢部市健康福祉課
小矢部市地域包括支援センター
TEL: 0766-67-8605
FAX: 0766-67-8602

ビジョンの実現のために③

③ 本人・家族への支援の輪を広げよう！

◆ 見守りネットワーク構築

- ① 認知症見守りネットワーク運営会議 H20.8.7 ～
- ② 徘徊見守り模擬訓練 H20.11.2～

◆ 資源マップweb上の公開 ‘認知症あんしんネット’

本人・家族が活用できる情報マップ H20.6公開→随時 更新
小矢部市ホームページからアクセス

◆ 相談・支援窓口

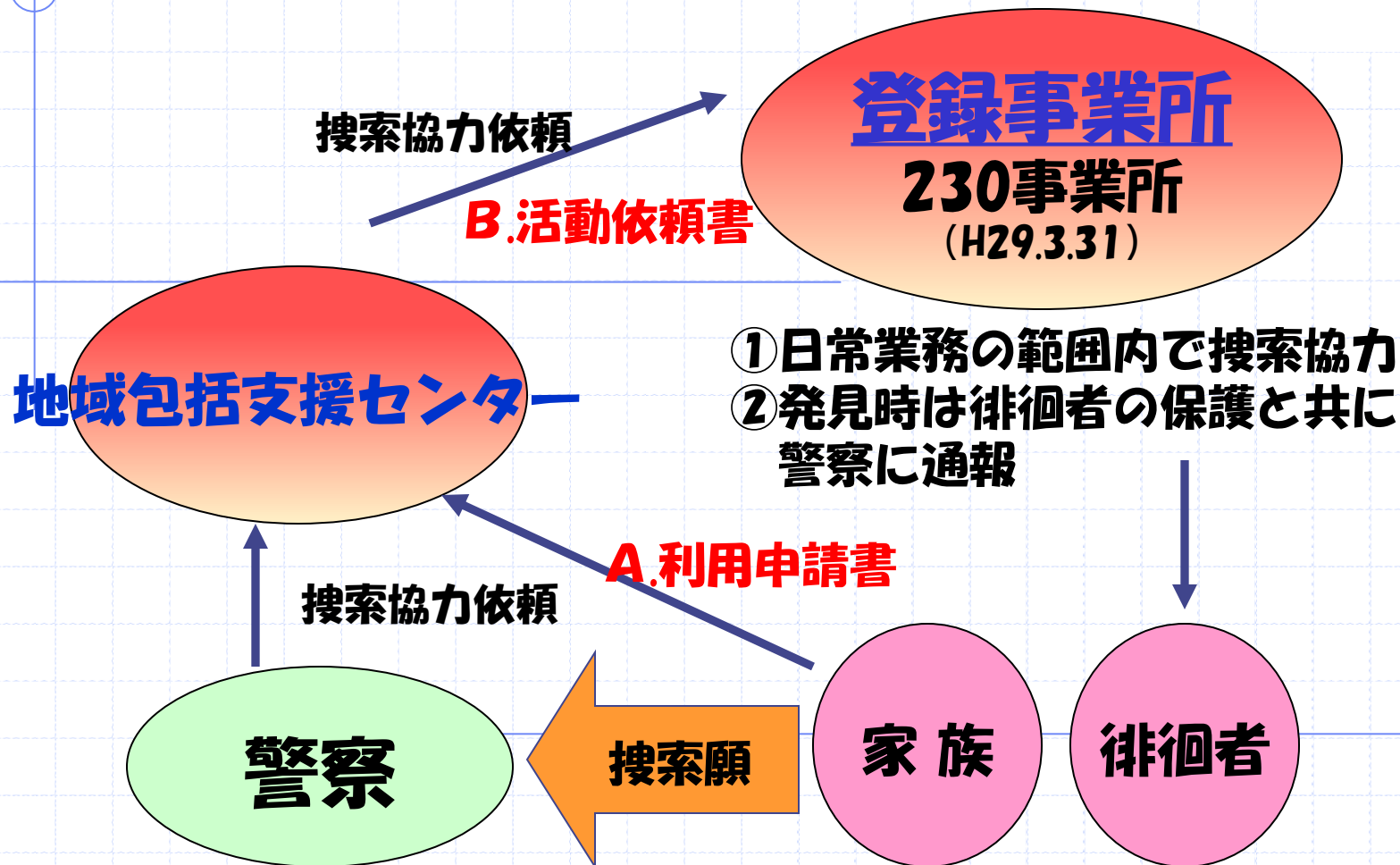
市内14ヶ所(既存の窓口の活用)→マップ化 H22.6全戸配付
『認知症あんしん相談会』毎月第4木曜日午後

見守りネットワーク構築

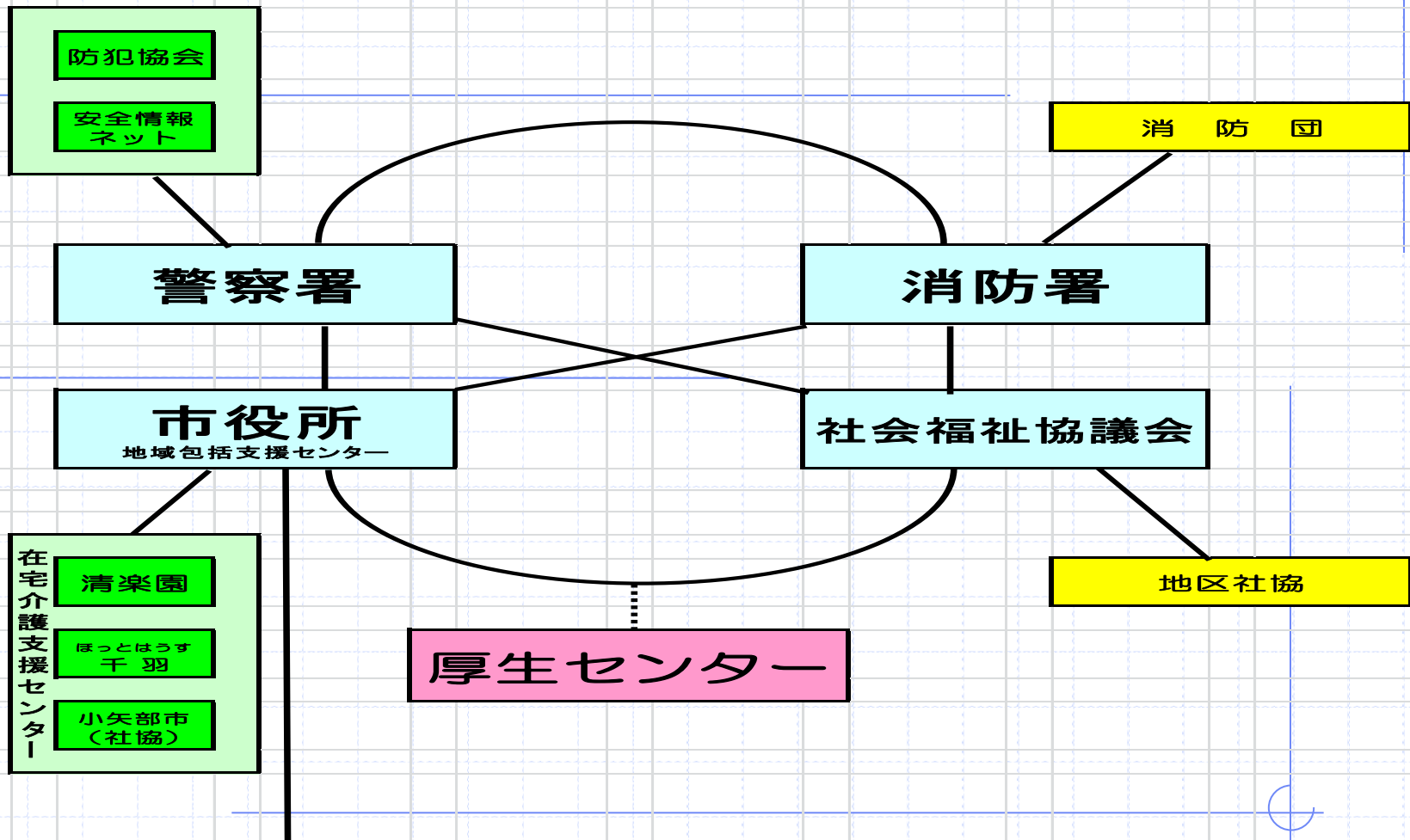
- **認知症見守りネットワーク運営会議**
- **徘徊見守り模擬訓練(H20.11.2 ~)**
- **見守り協力事業所登録 (H20.10~)**
- **徘徊(疑)実態調査 (H20.10~)**

認知症高齢者

見守り協力事業



認知症高齢者 見守りネットワーク



- | | | | | | | | |
|------|-------|--------------|------|------|------|---------------|---------------|
| 医師会 | 歯科医師会 | 銀行 | 郵便局 | 商工会 | JA | スーパー | コンビニ |
| 理容院 | 美容院 | 小学校 | 中学校 | 保育所 | 公民館 | 居宅介護
支援事業所 | 介護サービス
事業所 |
| 牛乳配達 | 新聞配達 | ガソリン
スタンド | 建設会社 | 運送会社 | タクシー | 運転代行 | 薬局 |

地域で支える第1歩。

徘徊見守り模擬訓練

～おやべ版～

<目的>

- ①生命が危険にさらされる可能性のある「徘徊」について、地域住民が知り、見守り（捜索）、声かけ、保護を体験する。
- ②捜索が必要になった場合に関係機関にスムーズに情報の伝達と早期に発見できる体制づくり。
- ③見守りネットワークにおける課題や問題点を把握する。

認知症の人とその家族の相談の場

オレンジカフェ

〔H26.11月 1号店 オープン〕

➡ H27.6月 2号店 ➡ H28.7月 3号店 オープン!



- 相談の場
- 悩みを話す場
- 本人支援の場
- ゆったり過ごす場

ビジョンの実現のために

今後の取り組み ～2025年を見据えて～

- ◆ 認知症初期集中支援チームの構築
- ◆ 認知症カフェ(オレンジカフェ)の開催
- ◆ 認知症ケアパスの作成・普及
- ◆ 認知症地域支援推進員の配置
- ◆ 若年性認知症支援の強化
- ◆ 医療・介護サービスを担う人材



認知症初期集中支援事業検討委員会

チーム員会議

チーム員

認知症専門医（日本老年精神学会若しくは日本認知症学会に定める）
認知症サポート医

相談・情報提供

指導・助言等

地域包括支援センター

保健師

社会福祉士

医療系専門職

所属

職種

砺波厚生センター
小矢部支所

保健師

介護サービス事業所等

作業療法士
看護師

医療機関

作業療法士

福祉系専門職

所属

職種

介護サービス事業所

介護福祉士

医療機関

精神保健福祉士

連携

認知症地域支援推進員

診断 相談

助言 情報提供

情報提供

指導・助言

認知症疾患
医療センター

診断

紹介

かかりつけ医
かかりつけ歯科医

助言

相談

介護支援専門員

砺波厚生センター
小矢部支所



① 地域支援推進員配置開始 平成27年4月～

② 配置人数 2人

③ 配置場所 地域包括支援センター(直営)

④ 配置状況 非常勤(専従)

⑤ 職種 保健師(介護支援専門員)



2 わがまちの認知症施策の課題と認知症地域支援推進員に期待する役割

(1) 認知症の課題

- ・高齢化が進み、認知症高齢者の増加を予想している。
- ・医療と介護の連携の更なる推進。
- ・認知症施策の啓発普及の推進。
- ・認知症予防施策の推進。



(2) 認知症地域支援推進員に期待する役割

- ① 医療・介護等の支援ネットワーク・連携体制の構築。
- ② 認知症の理解への啓発・対応力向上のためのしくみづくり。
- ③ 相談支援・支援体制の構築。





1. 関係機関との連携体制の構築

① 居宅介護支援事業所連絡調整会(月1回)への参加と意見交換

→ 「**認知症地域支援推進員訪問依頼連絡票**」の作成

② 訪問及びケア会議への参加

③ 地域包括支援センター連絡会議での情報共有と協議

④ 認知症初期集中支援チームとの連携訪問等

⑤ 民生委員からの認知症事例紹介による訪問及び必要な支援等

⑥ 警察からの情報提供(行方不明や物取られ妄想等)高齢者への訪問

2. 認知症相談の機会提供

認知症カフェの開催 日常生活圏域 3圏域 各1会場×毎月1回

3. 若年認知症の人とその家族に対する支援・相談

当事者と家族の交流を目的に開催・体験談や認知症ケア専門士の助言

4. 介護認定後のサービス未利用者や認定切れになった認知症高齢者の現状把握・支援

5. 認知症についての啓発普及

① 認知症サポーター養成講座 (サポーター数 9,700人/開催回数258回)

② 認知症高齢者徘徊見守り模擬訓練(年1回 8地区/全14地区)

③ 認知症を知るつどい(年1回) 他

4 認知症地域支援推進員の配置と活動上の課題・今後の計画

(1) 課題

- ・認知症が進行している状態であるにも関わらず、医療や介護、周囲の支援が適切に提供されていない事例がある。（周囲のあきらめや、困っていることの認識がない状態等）
- ・認知症になっても、安心して暮らせる地域づくりへの取組の充実。
- ・認知症ケアパスの普及推進。

(2) 今後の計画

- ① きめ細かいアウトリーチにより、事例を通じた関係機関との連携強化。
- ② 地域ケア会議等の参加・開催により、地域の見守り及び支援体制の構築。
- ③ 生活支援コーディネーターとの協働。



ビジョンの実現のために～できることから～

無関心 → 関心 → 支援

『点から線に』 『線から面に』



地域と共に！

